



2024年5月10日

各位

会社名 ネポン株式会社  
代表者名 代表取締役社長  
兼CEO 福田 晴久  
(コード番号 7985 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理本部長 堀 建二郎  
(TEL : 03-3709-3159)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年4月から2027年3月までの3ヵ年の中期経営計画を添付のとおり策定いたしましたので、お知らせいたします。

以上

# 中期経営計画 2024年4月～2027年3月

ネポン株式会社  
2024年5月10日

# 1. 前回中期経営計画（2023年4月～2026年3月）の初年度進捗状況

## 前回中期経営計画取組方針

## 77期（2023年4月～2024年3月）の進捗状況

### 1 脱炭素に向けたハイブリッド加温機の推進と次世代エネルギー活用推進

[1]ハイブリッド暖房の推進	ヒートポンプの拡販、新型機開発継続中
[2]次世代エネルギー源の活用	再生油利用、水素利用の温風暖房機の調査研究継続

### 2 デジタル技術を活用したIoT関連事業への取組

[3]IoTプラットフォーム等の構築	行政向け拡販継続、4自治体へのプラットフォーム提供
[4]業界標準の地位確立	農研機構WAGRIとの連携事業に継続参加

### 3 人的資源確保と経営基盤の強化に向けた取組

[5]経営基盤の抜本改革	人的リソースの拡充
	新人事制度導入・社内ITシステム更新、アップデート継続
[6]工場業務改善への取組	生産改善プロジェクトを発足し在庫・工数・スペース削減推進
	製品ポートフォリオの見直し

連結 経営 成績  (百万円)	計画			実績			計画比			
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	
売上高	8,560	7,774	▲786	営業CF	390	217	▲173			
営業利益	80	34	▲46	フリーCF	50	196	+146			
純利益	30	64	+34	設備投資	340	160	▲180			
				研究開発	740	751	+11			

## 2. 今回中期経営計画（2024年4月～2027年3月）での取組方針 （取組方針 1 2 3 の具体的内容は3～5ページをご参照ください）

### 現状と背景

当社は、施設園芸による農産物の安定的かつ効率的な生産に資する温風暖房機、栽培管理システム等の製造業者で、温風暖房機は施設園芸市場シェア70%（※1）を占めるなど、日本の施設園芸発展にハード面で大きく貢献して参りました。

一方、当社の主要お取引先であります施設園芸生産者を取り巻く環境には、使用する機器が排出する温室効果ガスの削減対応（※2）や、労働改善と品質向上を目指すスマート農業に必要な技術・機器の導入等、対処すべき課題が多く存在します。

こうした施設園芸生産者が対処すべき課題を早期に解消すべく、当社は前回中期経営計画で掲げた右記 1 2 の取組を継続し進化させます。

また 3 は前回の社内向け取組(人的資源確保・経営基盤強化)を、お取引先サービス力強化を目指す等の社外に向けた取組へ今回発展させます。

（※1）2021年11月時点で加温設備のある温室面積を基に当社算定

（※2）農林水産省のみどりの食料システム戦略では、2030年までにヒートポンプ等の導入により、省エネルギーなハイブリッド型園芸施設を50%にまで拡大

### 取組方針

1 脱炭素に向けたハイブリッド加温の推進・次世代エネルギー源の活用に向けた取り組み

3 お客様に高い価値と安心を届けるプロ集団を目指す取り組み

2 デジタル技術を活用したIoT事業拡大への取り組み

農と住の脱炭素  
IoTの構築  
高付加価値を  
生み出せる職場環境

78期  
2024年度

79期  
2025年度

80期  
2026年度

# 1 脱炭素に向けたハイブリッド加温の推進・次世代エネルギー源の活用に向けた取り組み

## ハイブリッド加温の推進

- ヒートポンプ、ガス焚など脱炭素向け製品の拡販に注力
- ヒートポンプは、国内販売を80期に約4倍(76期比)へ拡大

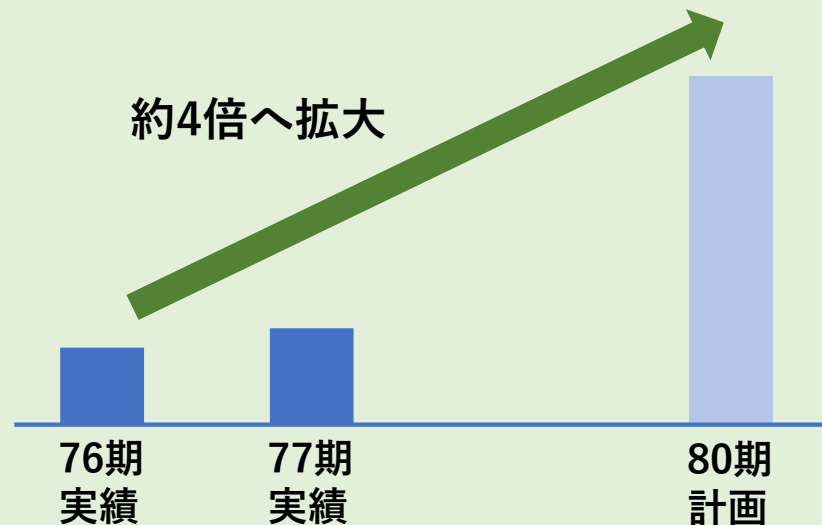
## 次世代エネルギー源の活用

- 再生油・水素などの新エネルギー活用、CO2回収など技術開発を他社との協業により実施し、環境対応力を向上

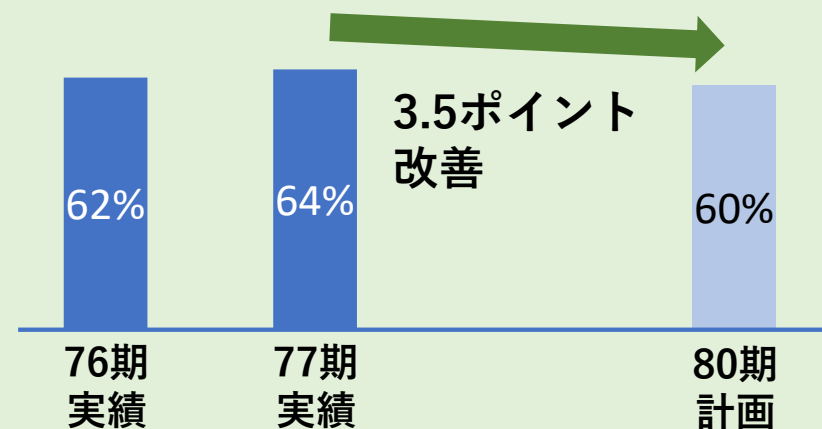
## 製品品質・コストの改善

- より安心・安全な農用・熱機器の販売増強に向けたリソースの集中投下
- 生産本部を主体に全社で売上原価率を80期までに3.5ポイント改善

## ヒートポンプ販売台数目標



## 売上原価率の改善



## 2 デジタル技術を活用したIoT事業拡大への取り組み

### 自動化・省力化ソリューション提供

- ちょりリモ・アグリネットの展開と行政連携でのソリューション開発
- 住環境用機器等のモニタリング・ソリューションの提供

### データ活用事業の拡充

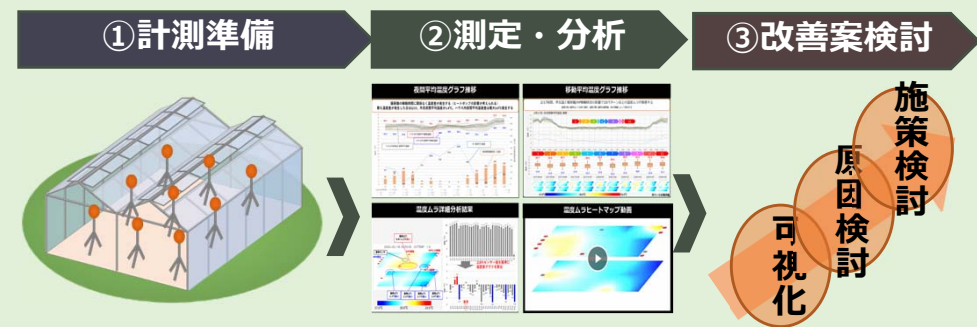
- 温度ムラ改善などのサービス化
- データを活用した新サービス開発

### IoTプラットフォームの構築

- 農用データ基盤を79期までに6自治体以上と連携して構築
- 施設園芸業界におけるデファクト・スタンダード（業界標準）を目指す



### 温度ムラ改善ソリューション



### 3 お客様に高い価値と安心を届けるプロ集団を目指す取り組み

高品質な製品・  
サービスの追求

新たな製品・  
事業モデルの構築

安全・きれい・  
コンパクトな工場へ

人材育成  
の強化

いきいきと働ける  
職場づくり

社内業務改善  
の継続

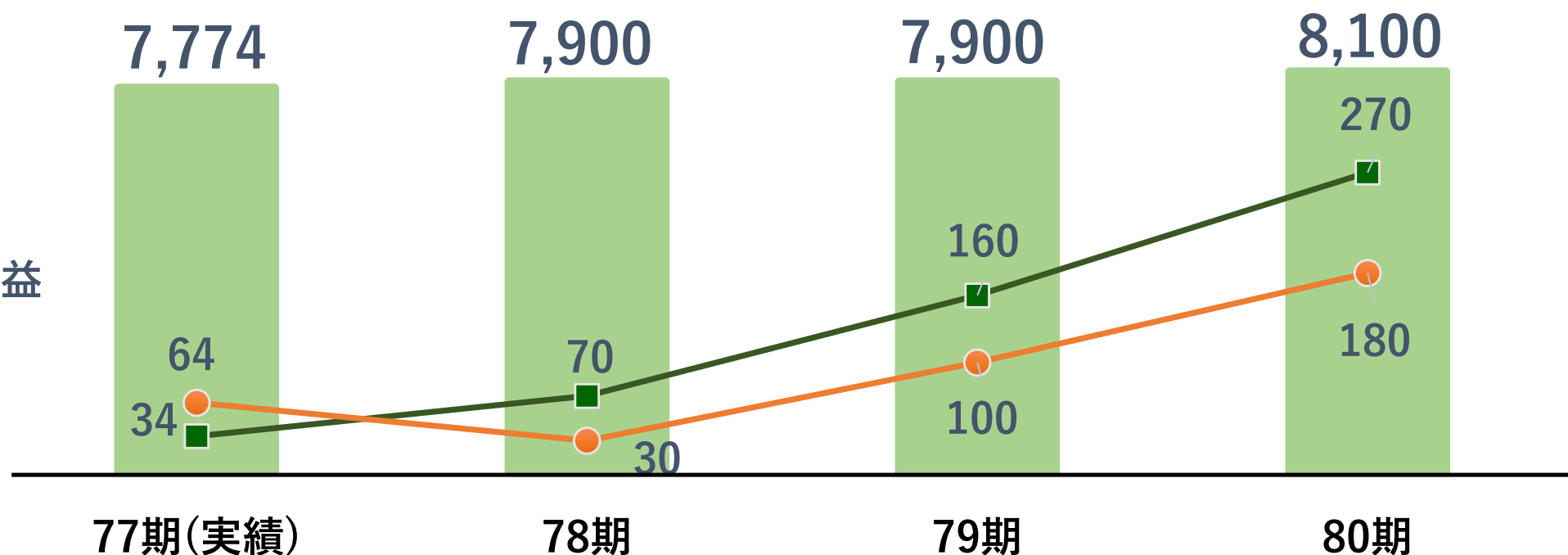
### 3. 中期経営計画で目指す姿～財務計画（連結決算）

#### 収益計画 (百万円)

■ 売上高

■ 営業利益

● 純利益



#### 財務目標 (百万円)

営業CF

フリーCF

設備投資

研究開発

217

196

160

751

400

130

\* 270

820

470

250

\* 220

820

720

500

\* 220

820

\* 工場の新規・改善設備投資内容は別途検討・決定します



本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。